

11 - 5 2004年12月26日スマトラ島西方沖及び2005年3月29日スマトラ島付近の地震の概要

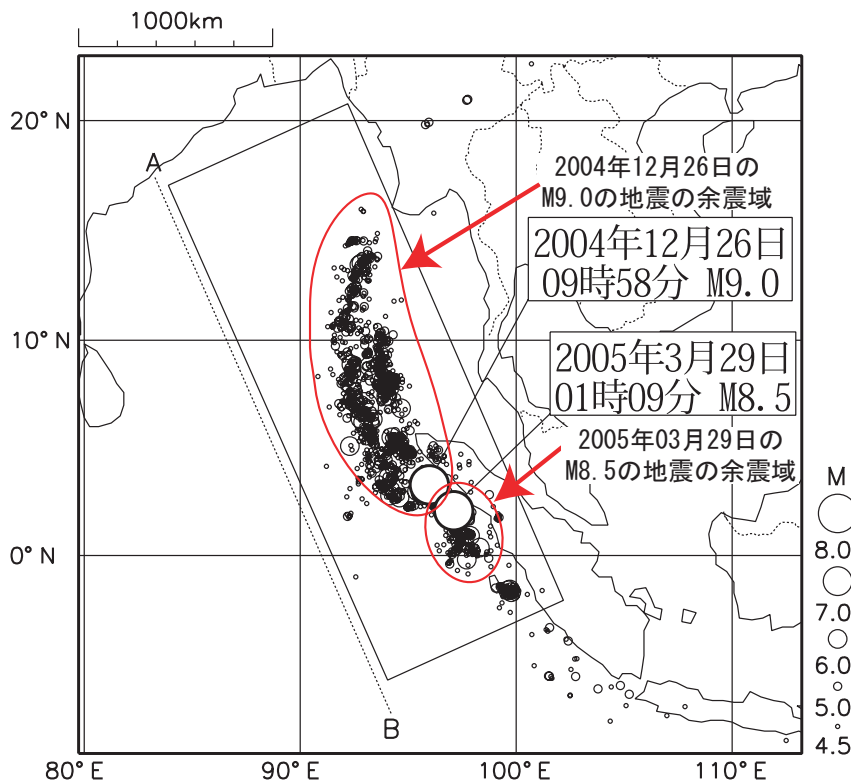
An outline of earthquakes occurred west off Sumatra Island on Dec.26, 2004 and around Sumatra Island on Mar.29, 2005

気象庁・地震津波監視課

Earthquake and Tsunami Observations Division, JMA

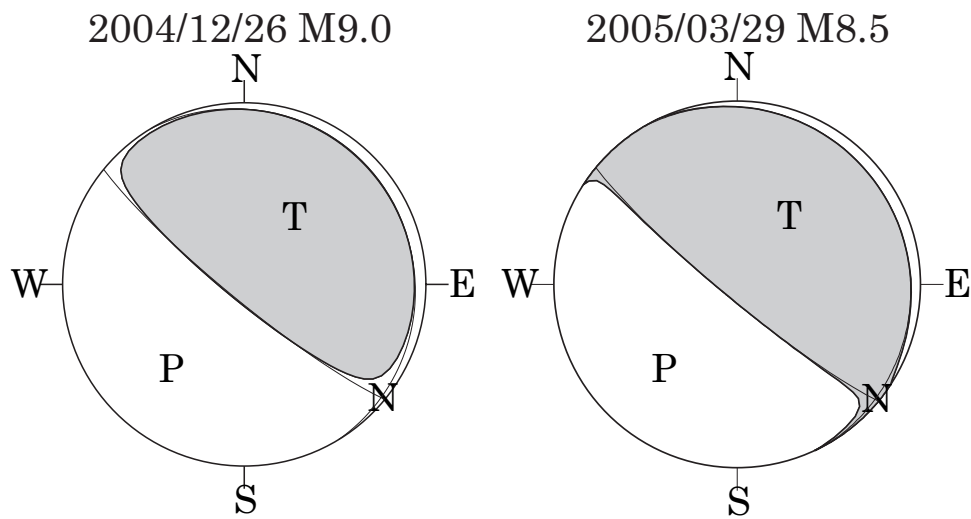
2004年12月26日09時58分（日本時間）にスマトラ島西方沖でM9.0（ハーバード大学によるMw）の地震が発生した（第1図）。この地震により津波が発生し、インド洋沿岸諸国で合計28万人以上の死者が出るなどの膨大な被害を生じた。米国地質調査所（USGS）によると、この地震は1900年以降、4番目に大きい地震であり、津波による被害としては記録上過去最大となった。発震機構（ハーバード大学CMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型（第2図）で、インド・オーストラリアプレートの沈み込みに伴う地震と考えられる。余震活動は本震-余震型で推移し（第3図）、余震域は本震から約1,200km北方まで広がって分布した（第1図）。1月下旬にM5程度の地震活動が余震域中央付近で一時活発化したが、その後減衰している（第4図）。

また、2005年3月29日01時09分（日本時間）に、12月26日のM9.0の地震の余震域南端に隣接した場所で、M8.5（太平洋津波警報センターによるマグニチュード。ハーバード大学によるMwは8.6）の地震が発生した（第1,4図）。発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型（第2図）で、この地震もインド・オーストラリアプレートの沈み込みに伴う地震と考えられる。4月中旬には更に南方で最大規模M6-M7程度の地震活動があった（第1,3,4図）が、全体的な地震活動としては、徐々に減衰している。

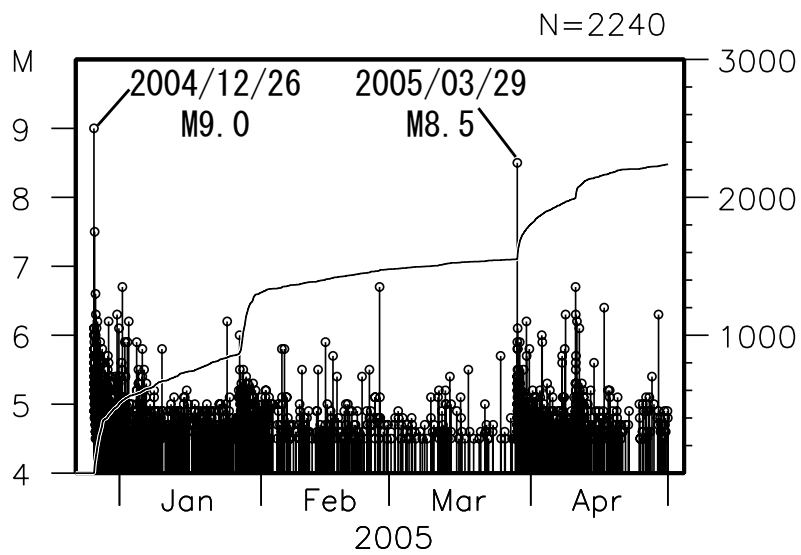


第1図 震央分布図（2004/12/26～2005/04/30、M≥4.5、深さ100km以浅、USGSのデータによる）

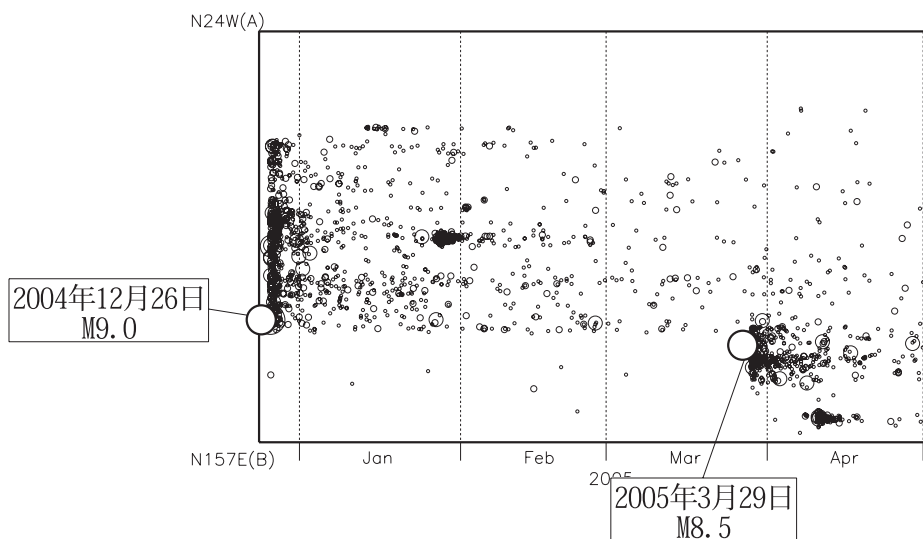
Fig.1 Distribution of epicenters. (2004/12/26-2005/04/30, M ≥ 4.5, Depth ≤ 100km, Data from USGS)



第2図 ハーバード大学によるCMT解
Fig.2 CMT solutions determined by Harvard Univ.



第3図 M-T図と回数積算図
Fig.3 Magnitude-Time plot and Accumulated number of earthquakes.



第4図 時空間分布図 (第1図のAB投影)
Fig.4 Space-Time plot of A-B projection in Fig.1.